

泉州国際市民マラソン 第15回大会 2008年(平成20年)

SENSHU INTERNATIONAL CITY MARATHON THE 15th CONVENTIONS



2月17日 日

天 候: 晴れ
気 温: 5.5℃
参加者数: 2,955人
完走者数: 2,180人
沿道人数: 26万人



スタート合図を待つ
一般ランナー

写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>



スタート地点に
勢揃いする選手たち

写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>



号砲とともにスタート

写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>



浜寺公園を出発する
ランナー

写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

国内外からの招待選手を含む 2955 名が、恒例となった堺・浜寺公園をスタート、泉佐野・りんくう公園のフィニッシュを目指し早春の泉州路を駆け抜けた。スタート時は気温 5.5 度、天候は晴れという気象条件であったが、後半は雪が舞い強風が吹くという不順な天候であった。男子はフルマラソン初挑戦の稲垣晃二(姫路市陸協)が 30km 過ぎでトップに立ち、2 時間 19 分 49 秒で優勝した。稲垣は全国高校駅伝の優勝メンバー(西脇工業高)で今春大学卒業した 23 才の新鋭であった。女子は、昨年東京国際女子 4 位の尾崎朱美(セカンドウインド A C)が 2 時間 39 分 25 秒の大会新で初優勝した。

特別招待選手で連続出場の 80 才の最高齢山田敬蔵(松下微賞)やシンガー高石ともやも元気な姿を見せた。また、タレントの森脇健児が初出場し、周囲の心配をよそに制限時間ぎりぎりまで完走した。今年も参加選手よりも多い 4000 人のボランティアが「私も主役」という奉仕的精神で大会を盛り上げた。



昨年のゴールドコーストマラソン＝同マラソン日本事務局提供
GOLD COAST AIRPORT MARATHON

スポーツを通じて異文化に関心をもちあうと、泉大津国際交流協会と泉大津市は30日、同市の泉大津フェニックス多目的広場で「25歳マラソン」「ジュニアタッシュロ泉大津」を開催、上位入賞の小中学生と保護者を激励で行われる「ゴールドコーストマラソン」(7月)に派遣する。

泉州マラソンが縁結び

豪レースへ児童派遣

2・25キロ
30日選考会

泉州のマラソンは今年30回目、泉州国際市民マラソン(読売新聞大阪本社など後援)と姉妹提携、青い海がパシフィックコースが人気で、昨年は世界各団から約1万6000人が参加した。フルマラソン以外にハーフ、10キロなどの部門があり、子どもが参加するのは「2・25歳ジュニアタッシュロ」で、保護者の伴走もできる。

泉大津市での選考レースで、男女別の名優選手を泉州に派遣。優勝者が市外在住者の場合、市内在住の最高順位者も派遣する。同協会が、子どもと保護者1人の航空運賃や宿泊費などを負担。

泉州地域9市4町共催の「泉州国際市民マラソン」の実行委員長として、昨年、神谷昇市長が泉州のマ

泉大津国際交流協など企画

ランを視察。親子一緒に広い大地を駆け抜ける姿に感動し、企画した。派遣された小学生たちは、大会レセプションなどにも出席。現地の子どもたちと交流を深める。帰国後は、感想文などを市に提出してもらう。

選考レースは、午前8時30分スタート。参加資格は、1997年7月7日〜2000年4月1日生まれの男女。定員は男女各300人(定員超過の場合は抽選)。参加費1000円。申し込みは14日までに、所定用紙に必要事項を記入し、同市役所・国際交流協会事務局に提出。郵送でも可。市役所1階から印刷できる。問い合わせは同事務局(07-25-33-113)へ。



一斉にスタートするランナーたち

2008年(平成20年)3月4日付朝刊

スタート地点での審判打合わせ



写真提供：オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

受付などで奮闘するボランティア



写真提供：オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

地元の物産店でPR



写真提供：オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

自己記録別にスタート位置を区分け



写真提供：オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

選手受付をする参加者



写真提供：オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

このマラソンはボランティアの皆様のおかげです



写真提供：オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

泉州国際市民マラソンに寄せて

田尻町長 原 明美



この度、泉州国際市民マラソンが、第20回という記念すべき節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

今日まで携わってこれました実行委員会や大会関係者、そして何よりも多くの地域ボランティアの皆さまの支え無くして、この日を迎えることは出来なかったことでしょう。改めまして、心から深く敬意を表します。

さて、平成6年に関西国際空港の開港イベントとして始まった本マラソンですが、スポーツの推進、文化の振興に留まることなく、行政や多くの

団体、企業、そして地域の皆さまとがひとつになって創り、盛り上げてきたことで、地域全体の連帯感が醸成され、全国に向けて泉州地域の魅力を発信してきました。

加えまして、昨年より東日本大震災被災地支援チャリティーマラソンとして、この大阪泉州の地より、元気を発信してきたことは、非常に意義深いものであります。

本町は、平成 25 年に町制施行 60 周年の節目を迎え、同じ年に第 20 回記念大会が開催されましたことを光榮に思っています。

今後も記憶に残る素晴らしい大会としてご発展
されますことと全国各地からご参加いただきまし
たランナーの皆さま並びに関係者、地域の皆さま
方の更なるご健康とご多幸を祈念いたします。

泉州国際市民マラソン

平春の衆を市民フナーが慰めかけた時の「第15回
朝鮮国華市民フナー」同マラソン実行委員会主催、売完
りした大坂本社は、売残り品を後援。国内外から参加した
人は、韓国西地区浜津公園公団よりスタートし、樂見野市
の6kmのところで入園までの42・195キロのコースで戦って楽見野広
げへ、スター1時の気温昨年より4・9度低い-5・5度
照路燈が舞い降りた霧の中、白い息吐きながら力走する
フナーに、沿道の約2千人が温かい手拭を送った。

■スタート

■スタート
浜守公園では、ランナーがストレッチ体操やジョギングをしながら繰り返したり、記念撮影をしながら、スタートの時を待っていた。

沿道

オ一の表情がこわばり、午前十一時、身砲が鳴り響くと一斉に駆け出した。

■最高齡

鯉前(岸和田市)では、本町青最高齢選手で、1953年の年団の有志約10人が、太鼓や笛、ボストンマラソンで優勝経験が



一斉にスタートするランナー（17日午前11時、堺市西区の浜寺公園で、本社へりから）

22万人声援 力走後押し

■タレント・歌手

■タレント・歌手
タレントの森脇健介さんらが
初出場、4時間半の制限時間き
りきで完走した。「途中でできな
くを諦めて思うような形できな
かった」と、完全燃焼とはいかな
くだった。また、相模原の応援が
響き出た瞬間に汗をぬぐった
と気持ちよさそうに汗をぬぐっ
た。

「シンガー同士が『音楽は』と
励まし合う、この大会が雰囲気
大好き」。シンガー・シンタライ



ゴール後に笑顔を見せる森脇健児さん



完走を果たし、参加者と健闘をたたえ合う高石ともやさん（左）

晴れ・雪・強風
人生の縮図 楽しめた

も考えたが、「地元で走りな
い」と2年間練習を重ねたこ
とを思い出し、力を振り絞っ
た。



だんじり囃子でランナーを励ます青年団員（岸和田だんじり会館前で）

だんじり囃子で励まし／人情お土産に

到達できず、無念のリタイア。それでも「観客が応援してくれ
るから」とゼッケンを外して、
約5分走り続けた。

「ペース配分を誤った。走る元氣はあっただけに本当に残念」と悔しげな表情を浮かべ、「この大会に出場するのは今回が最後になるかもしれないが、走ることだけは続けたい」と決意を新たにした。

■
ゴ
ー
ル

「独身最後に最高の悪い出が
できました。5日後に結婚を
控える飯南市の八幡川陽子さん
(31)は「ブルに2時間、感極ま
って涙があふれた」。

マラソン出場は3回目だが、
大会前に足を痛めてしまい、自
信を失った。痛みが激しくな
り、途中でリタイアすることと



伴走者とゴールする安藤信幸さん（中央）



折り返し地点をまわるランナーたち



沿道からランナーに声援を送る人たち

2008年平成20年(2月18日)付朝刊



男子一般組でトップに立った稲垣



ただひたすら一歩一歩を...

写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>



写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

マリナブリッジを力走する選手たち

泉州マラソン 稲垣 初挑戦V 女子は尾崎が大会新

陸上・関西国際空港マラソン(2月18日)が、泉州マラソンとして、泉州国際市民マラソン(2月18日)と併催された。男子は稲垣晃二(30歳)が初挑戦で、女子は尾崎朱美(23歳)が大会新記録を樹出した。男子は稲垣晃二(30歳)が初挑戦で、女子は尾崎朱美(23歳)が大会新記録を樹出した。



写真提供: オールスポーツコミュニティ <http://allsports.jp/>

◆10月の女子最速記録は、尾崎朱美(23歳)の30分39秒。男子は、尾崎朱美(23歳)の30分39秒。男子は、尾崎朱美(23歳)の30分39秒。

尾崎朱美(23歳)は、泉州マラソンで、男子は稲垣晃二(30歳)が初挑戦で、女子は尾崎朱美(23歳)が大会新記録を樹出した。

尾崎朱美(23歳)は、泉州マラソンで、男子は稲垣晃二(30歳)が初挑戦で、女子は尾崎朱美(23歳)が大会新記録を樹出した。



優勝 第15回大会

男子 姫路市陸協 稲垣晃二
女子 セカンドウィンド 尾崎朱美

